

令和6年8月16日

## 知床世界自然遺産地域内の携帯電話基地局整備に関する助言について

知床世界自然遺産地域科学委員会  
委員長 中村 太士

令和6年6月7日に開催された知床世界自然遺産地域科学委員会において、標記の携帯電話基地局の整備計画が知床世界自然遺産地域の顕著で普遍的な価値（OUV）に与える影響について検討し、「環境及び生態系調査が不十分であり、顕著で普遍的な価値（OUV）への影響を判断することはできない。このため、工事を一時中断して、調査を実施し、改めて影響を評価すべき」との助言をしたところです。

この助言の内容として、顕著で普遍的な価値（OUV）に対する影響を評価するための具体的な調査項目等の例を以下のとおり整理しました。詳細については、参考として別添資料を参照してください。

1. 知床岬地区：国立公園特別保護地区、知床世界自然遺産地域A地区、自然植生

## ①生態系・生物多様性

植生：植生図作成、群落調査、植生回復モニタリング調査

オジロワシ：継続して営巣が確認されている地区である。

つがい・幼鳥の行動調査、営巣木調査、繁殖状況調査

その他鳥類：ラインセンサス調査

哺乳類・昆虫類：専門家ヒアリング

## ②景観

以下の資料を作成する。

- ・携帯電話基地局のフォトモンタージュを作成し、トレッカーや観光船などの国立公園利用者からの見え方に関する資料
- ・時間帯ごとの太陽光発電パネルの反射方向を明らかにし、利用ルートとの重複状況に関する資料

## 2. ニカリウス地区：国立公園第1種特別地域、知床世界自然遺産地域B地区、番屋跡地を含む

### ①生態系・生物多様性

植生：植生図作成、群落調査、植生回復モニタリング調査

オジロワシ：営巣が確認されていない地区である。

生息状況調査、営巣木調査、繁殖状況調査

その他鳥類：ラインセンサス調査

哺乳類・昆虫類：専門家ヒアリング

### ②景観

以下の資料を作成する。

- ・携帯電話基地局のフォトモンタージュを作成し、トレッカーや観光船などの国立公園利用者からの見え方に関する資料
- ・時間帯ごとの太陽光発電パネルの反射方向を明らかにし、利用ルートとの重複状況に関する資料

## 3. その他

上記調査項目のほか、委員より指摘のあった携帯電話基地局の規模の根拠、火災やパネルの破損等の事故発生時の対応方針・予防措置、維持管理方針、景観調査を踏まえた影響の評価方法等について、専門的知見を有する第三者による意見を踏まえて回答すること。